

令和2年度公益財団法人鳥取県畜産振興協会事業計画

1 基本方針

公益財団法人鳥取県畜産振興協会は、公益事業をベースとした事業を展開している。主要な収入事業である預託事業では、大山放牧場の整備が終了した平成25年度にはそれまでの850頭規模から1,000頭規模の体制となり、そして平成30年度には鳥取放牧場に牛舎3棟が新築整備され、1,200頭規模の周年放牧預託が可能となった。このことにより、近年高まりを見せる県下畜産農家の預託希望に応える体制が整ってきたところである。

本年度も預託頭数1,200頭を目標に、鳥取県の支援を得ながら飼養管理のさらなる充実や職員の技術力の向上を図りながら、畜産農家に必要な優良後継牛の確保に貢献していくこととする。

牧草管理関係では、牧草生育面積の確保に努めることとする。放牧預託料収入の約5割相当となる飼料費が年々増加傾向にあり、これは輸入乾草単価が生産国の生産状況、他国の需要状況により不安定且つ上昇傾向となっているためである。その飼料費の削減を図るため、放牧場内に広がる灌木等を除去して実放牧面積を確保する。また、自給飼料ほ場の適正な肥培管理を行い、良質牧草の収穫量の増加につながる努力を行う。特に、鳥取放牧場においては、放牧場外に飼料ほ場の確保を図り、自給率の向上に努める。

繁殖関係では、適期での受胎及び多回授精牛の減少を図るため、預託牛へのICTによる発情管理システムの導入を鳥取県の支援を得て行う。また、受精卵移植事業は、場外技術習得研修を受講し技術レベルの向上を図り、受胎率50%達成を目指す。更に、採卵事業では、農家庭先採卵と場内採卵を実施する。本事業を開始してから6年が経過するが、飼養者により正常採卵取得個数にバラツキがあるため、安定的な正常採卵数の確保ができるよう飼養管理指導を実施したい。

については、県下の畜産農家から預託を受けた乳用育成牛や繁殖和牛を基礎牛としてお返しするため、次に掲げる点について重点的に取り組んで行くこととする。

(1) 自給飼料生産の取組み

近年、牧草関連機械の整備を実施し、飼料生産の効率化が図られた。しかし、鳥取放牧場及び河合谷牧野の飼料ほ場は鹿、猪の食害を受け、収穫量が減少していることから、昨年度に引き続き今年度も放牧場外に飼料生産ほ場を確保し、安定した自給率の定着に努める。

採草地と放牧草地の牧草管理については、牧草収穫目標と放牧密度が高まるような肥培管理を実施する。

牧草収穫目標量	湖山周辺草地及び水田飼料草地	4t/10a
	牧草収穫草地	2t/10a
	放牧頭数密度	70頭/10a/年

(2) 放牧地の再開発

放牧場の特徴である放牧地を利用しできるだけ多くの預託牛をできるだけ長期間放牧することとしている。しかし、鳥取放牧場の急峻な放牧地では灌木、笹等が繁茂しており放牧が制限されているため、ラジコン除草機械により灌木、笹等を除去し播種・施肥を行い、放牧面積の確保に努める。

(3) 発情管理システムの導入

常時預託牛1, 200頭と大規模の飼養管理体制となり、1 頭当たりの繁殖管理時間が減少することにより月齢適期での受胎の減少や多回授精牛の増加が懸念されるため、預託牛へのICT による発情管理システムの導入を鳥取県の支援を得て行う。

発情管理システムの導入 鳥取放牧場 100 頭分 3,776 千円(鳥取県補助金 1,716 千円)

(4) 受精卵移植の受胎率向上と移植頭数の拡大

預託牛に希望する受精卵を移植しているが、鳥取・大山放牧場の担当職員の技術向上を図り、受胎率が平均50%に到達するよう努める。

(5) 飼養管理の改善

① 牛床の敷料確保対策

現在利用している籾殻のみでは牛床の糞尿吸着が悪いため、籾殻と自家製オガコを混合して使用しているが、絶対量が不足している。未利用資材であるオガコ菌床等の再利用を行う。

② 牛舎内消毒による疾病発生予防対策

鳥取・大山各放牧場においては、常時預託牛1, 200頭と大規模の飼養管理体制となり、病気等の蔓延防止が重要な課題であり、特に伝染性の皮膚病、下痢、肺炎等の予防対策として消毒は必須である。この消毒実施を迅速に効果的に実施するため、乗用のスピードスプレーを利用した伝染性疾病予防対策を定期的に行う。

(6) 技術レベル向上のための研修

受精卵移植技術、採卵・凍結保存技術、牧草栽培の肥培管理技術等の技術レベル向上のため、担当職員を研修派遣し高い技術を習得させ、全牧場職員へ技術の伝達を図りながら能力向上に努める。

(7) 消費者との交流促進

① 畜産理解の醸成活動

大山放牧場の「大山まきばみるくの里」、鳥取放牧場の「ふれあい草地」を地域の幼稚園児、児童、老人福祉施設の利用者等に開放し、畜産への理解醸成を図る。

② 野外教育の場としての提供

鳥取大学獣医学科、鳥取環境大学の学生等に学科単位の取得、卒業論文の材料提供を行い畜産技術者の育成に努める。

2 主な事業計画

(1) 放牧預託事業 【予算額 265,521千円】

① 預託頭数

(単位:頭)

牧場名	畜種	令和2年度計画		令和元年度計画		放牧期間
		新規入牧頭数	月平均飼養頭数	新規入牧頭数	月平均飼養頭数	
鳥取放牧場	乳用牛	560	520	560	512	周年預託
	肉用牛	240	187	240	182	
河合谷牧野	乳用牛					5~10月
	肉用牛		77		77	
大山放牧場	乳用牛	480	407	480	380	周年預託
	肉用牛					
俵原牧野	乳用牛		100		100	4~10月
	肉用牛					
合計	乳用牛	1,040	1,027	1,040	992	(R2:周年985頭)
	肉用牛	240	264	240	259	(R2:周年225頭)
	計	1,280	1,291	1,280	1,251	(R2:周年1,210頭)

② 預託料

(単位:頭、千円)

牧場名	畜種	令和2年度計画		令和元年度計画		備考								
		延頭数	預託料	延頭数	預託料									
鳥取放牧場	乳用牛	190,140	117,887	186,720	113,899	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">預託料/日・頭(税込み)</th> </tr> <tr> <td>乳用牛</td> <td>620円</td> </tr> <tr> <td>肉用牛</td> <td>510円</td> </tr> <tr> <td>交雑牛</td> <td>510円</td> </tr> </table>	預託料/日・頭(税込み)		乳用牛	620円	肉用牛	510円	交雑牛	510円
	預託料/日・頭(税込み)													
乳用牛	620円													
肉用牛	510円													
交雑牛	510円													
肉用牛	82,350	41,998	80,300	40,150										
大山放牧場	乳用牛	170,380	105,636	160,000	97,600									
	肉用牛													
合計	乳用牛	360,520	223,523	346,720	211,499									
	肉用牛	82,350	41,998	80,300	40,150									
	計	442,870	265,521	427,020	251,649									

(2) 人工授精・移植・採卵事業

① 人工授精 【予算額 6,751千円】

(単位:頭、千円)

牧場名	令和2年度計画		令和元年度計画		備 考
	実施頭数	手数料	実施頭数	手数料	
鳥取放牧場	1,190	4,467	1,140	4,201	技術料:2,000円/頭×1.1 精液代等実費
大山放牧場	790	2,284	760	2,155	
合 計	1,980	6,751	1,900	6,356	

② 受精卵移植 【予算額 2,750千円】

(単位:頭、千円)

牧場名	令和2年度計画		令和元年度計画		備 考
	実施頭数	手数料	実施頭数	手数料	
鳥取放牧場	175	1,925	170	1,836	技術料:10,000円/受胎×1.1
大山放牧場	75	825	70	756	
受精卵販売	0		0		
合 計	250	2,750	240	2,592	

③ 受精卵採卵 【予算額 12,140千円】

(単位:頭、千円)

牧場名	令和2年度計画		令和元年度計画		備 考
	実施頭数	手数料	実施頭数	手数料	
鳥取放牧場	270	12,140	270	11,919	技術料:40,000円×1.1 出張経費
大山放牧場					
合 計	270	12,140	270	11,919	

(3) 牧草管理事業

① 飼料購入計画 【予算額 134,097千円】

(単位:t、千円)

牧場名	令和2年度計画						令和元年度計画					
	濃厚飼料		粗飼料		合計		濃厚飼料		粗飼料		合計	
	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額
鳥取放牧場	533	27,186	809	50,178	1,342	77,364	525	26,250	792	47,520	1,317	73,770
大山放牧場	333	16,998	642	39,735	975	56,733	310	15,500	594	35,693	904	51,193
合 計	866	44,184	1,451	89,913	2,317	134,097	835	41,750	1,386	83,213	2,221	124,963

② 自給飼料生産計画

(単位:ha、個、t)

牧場名	令和2年度計画			令和元年度計画		
	採草面積	ロール数	収量	採草面積	ロール数	収量
鳥取放牧場	47	2,560	1,280	47	2,550	1,275
大山放牧場	61	1,840	920	61	1,830	915
合 計	108	4,400	2,200	108	4,380	2,190